

報道関係者各位  
プレスリリース

電通アイソバー株式会社

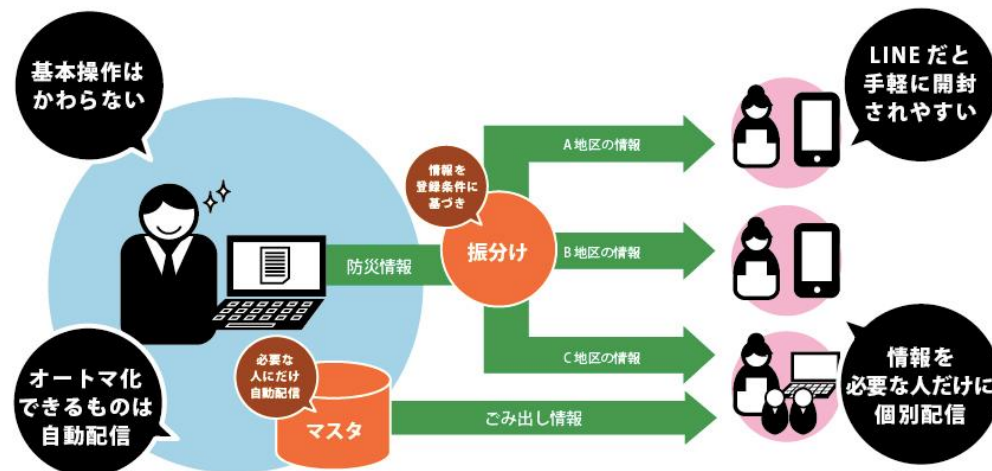
## 電通アイソバー、LINE を活用した自治体向けコミュニケーションシステム 「広域情報個別配信システム CourierBird」で地域活性化をサポート ～第一弾として、福岡市にてサービスを開始～

電通アイソバー株式会社（本社：東京都中央区築地、代表取締役社長 CEO：得丸 英俊、以下電通アイソバー）は、LINE 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：出澤 剛、以下 LINE）が提供する LINE ビジネスコネクトを活用し、生活に密着した様々な分野の情報を発信するコミュニケーションシステムを自治体向けに構築しました。このたび初めて本システムを利用した市民への情報配信サービスが、福岡市（市長：高島 宗一郎）において開始されます。

本システムでは、LINEをプラットフォームとして活用し、弊社オリジナルの管理システムを統合することで、利用者のニーズに合わせた的確な情報を適時に配信することが可能になります。さらに、新システム導入時のオペレーション（操作）習得の負担を軽減するため、既存のメルマガシステムから配信したメールを自動的に SNS プラットフォームに最適化されたメッセージに変換する機能を備えました。

運用者の負担を軽減し、必要な情報を必要な時にお届けする

### LINE などの SNS を使った電通アイソバーの CourierBird



## 今回パッケージされている機能



### ■ サービス提供の背景と今後の展開 ■

災害に強い街の実現、地域コミュニティの再生・地域活性化等、地域が抱える様々な課題を解決するため、ICTを活用した街づくりへの期待が高まっています。しかしながら、総務省が実施した「ICT を活用し『街づくり』に係る地方自治体調査（平成 25 年）」によると、「共通 ICT 基盤」に関する ICT システムの共同運用に、「既に取り組んでいる」は 5.9%にとどまり、「関心はあるが情報収集していない」が 55.9%にのぼります。<sup>\*1</sup> その理由として、「財政が難しい」（62%）「具体的な利用イメージ・用途が明確でない」（54.7%）「効果・メリットが明確でない」（49.5%）「適切な ICT ベンダー・サービスが見つけない」（12.6%）といった理由が挙げられています。<sup>\*2</sup>

日本の月間アクティブユーザー数 6,600 万人（2016 年 12 月時点）と、人口の半数以上が利用している LINE を活用した本サービスを導入することにより、これらの課題を包括的に解決することが可能となります。

ゼロベースからのシステム開発が不要なため、比較的安価に導入することができ、さらに、人々の日常に浸透している LINE を活用したサービスで利用イメージがしやすく、シンプルな操作で利用が可能になるため効率的に導入・活用を促せます。

今後は、防犯、医療、介護、福祉、観光などの情報発信など、自治体における様々な分野での展開が考えられます。また、LINE など SNS との連携を実現し、福岡市だけでなく、他自治体も含めた連携体制やシステム構築など、多様性のあるサービスの検討を進めていく予定です。

サービスページ：<http://www.dentsuisobar.com/works/courierbird/>

### ■ 福岡市の導入事例 ■

#### 《防災情報の配信》

災害等の状況に応じた内容を、効率的効果的に情報発信。雨量など一部カテゴリでは地域に合わせた配信も可能です。

#### 《ごみの日をお知らせ》

ごみの持ち出し日に合わせて、お知らせを届けます。リマインダー機能により、当日や前日など、通知のタイミングも指定可能です。

### 《子育て情報の配信》

妊娠中から未就学児までの子育て世帯向けに、リマインダー機能を活用して、お子様の月齢に応じた有益な情報を発信します。

### 《市からのお知らせ》

市民の方へのお知らせなどを発信します。

## ■ 当該アカウントについて ■

LINE ID : @fukuokacity



### < 参考情報 >

#### 「LINE ビジネスコネクト」とは

LINE 株式会社がアカウントの各種機能を企業向けに API で提供し、各企業がカスタマイズして活用できるサービスです。「LINE ビジネスコネクト」を活用することにより、従来の企業公式アカウントのような、LINE ユーザーへの一方通行のメッセージ配信だけでなく、特定のユーザーに対してより最適化されたメッセージを送ることが可能となります。さらに、ユーザーの同意のもと、企業の持つ既存のデータベースや、自社システムと LINE アカウントを連携させることで、メッセージ配信ツールとしての域を超え、顧客管理（CRM）ツールや、業務ソリューションツールとしての利用も可能になります。LINE 株式会社では、LINE アカウントに紐付いた各企業の顧客データを保持することはありません。

\*1、\*2（出典）総務省「地域における ICT 利活用の現状等に関する調査研究」（平成 25 年）

#### 電通アイソバーの概要

- ・ 社名 : 電通アイソバー株式会社
- ・ 本社所在地 : 東京都中央区築地 1-13-1 築地松竹ビル
- ・ 設立 : 2016 年 1 月 1 日  
前身の株式会社デジタルパレットの設立は 2001 年 4 月
- ・ 資本金 : 4 億円
- ・ 従業員数 : 380 名（2017 年 1 月 1 日現在）
- ・ 事業内容 : デジタルマーケティング
- ・ 代表者 : 代表取締役社長 CEO 得丸 英俊

\* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

\*\*\*\*\*

【この件に関するお問い合わせ】

電通アイソバー株式会社 広報担当:

Tel: 03-5551-9885

E-mail:[contact@dentsuisobar.com](mailto:contact@dentsuisobar.com)